

かわらんべ

2011年
6月
第104号

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/kawaranbe/>

かわらんべの活動報告（5月16日～6月15日）、活動予定（7月）、自然通信、SABOコラムなどをお届けします。



「アユの子ども大きくなーれ」 アユの成長を願って、下伊那漁協の皆さんと一緒に天竜川へ稚アユを放流しました。（5/21）



「イモやヒマワリ植え」

サツマイモ、ナガイモ、ヒマワリなどの正しい育て方を教わって、河川敷の畑に植えました。（5/21）



「草木染め」

アイの葉、クワの実などの自然染料を使って、絹や綿のスカーフを色鮮やかに染めました。（6/15）



「川の水はキレイ？それとも」

全国一斉水質調査の日に、諏訪湖から飯田までの天竜川の水をかわらんべで調べました。（6/5）



「小川で魚取り」 魚や虫、ザリガニなどが住んでいる水辺の楽校（いいだ）で、魚取りや捕った魚のことを教わりました。（6/5）



かわらんべの活動報告

5月16日～6月15日

かわらんべ講座

かわらんべで企画し、みなさんに参加をよびかける講座。参加するには申し込みが必要です。このうちの○印は、天竜川上流河川事務所が主体的に計画する講座（天竜川体験講座）。

月日	講座名	場所	人数
● 5月19日（木）	「かわらんべウォーキング」	かわらんべ～開善寺	12名
● 5月21日（土）	「イモやヒマワリ植え」	かわらんべ	38名
○ 5月21日（土）	「アユの子ども大きくなーれ」	飯田市川路の天竜川	38名
● 6月 2日（木）	「絵手紙講座」	かわらんべ	21名
● 6月 4日（土）	「春の生き物観察」	かわらんべ	16名
● 6月 5日（日）	「小川で魚取り」	水辺の楽校川路	38名
○ 6月 5日（日）	「川の水はキレイ？それとも」	かわらんべ	18名
● 6月 8日（水）	「写真講座」	かわらんべ	9名
● 6月15日（水）	「草木染め」	かわらんべ	21名

リクエスト講座

みなさまからのご要望をうけて行う講座。内容や日程は事前にスタッフと調整してください。

月日	依頼者	実施内容	人数
◆ 5月17日（火）	時又保育園親子	【実習】魚取りと押し花	80名
◆ 5月20日（金）	三穂小学校1・2年	【実習】魚取り、ストーンアート	27名
◆ 5月20日（金）	駒ヶ根市老人クラブ	【講演】36災とその復興について	50名
◆ 5月22日（日）	上郷飯沼公民館	【講演】36災	50名
◆ 5月22日（日）	上郷上黒田公民館	【実習】押し花しおり、ストーンアート	80名
◆ 5月29日（日）	喬木第二小2年	【実習】自然散策、押し花づくり	35名
◆ 6月 3日（金）	上郷小学校2年	【実習】魚取り、自然観察	120名
◆ 6月11日（土）	冶部坂別荘管理組合	【実習】草木で苔玉作り	10名
◆ 6月11日（土）	阿智第一小2年親子	【実習】魚取り	63名
◆ 6月11日（土）	下伊那生コン協同組合	【講演】36災とその復興について	100名

上郷小学校2年生 生活科でかわらんべを訪れ、身近な植物の観察をしたり、小川で魚やザリガニ取りをしました。（6/3）



かわらんべに到着



魚取りや自然観察をする



みんなでとった魚など

そのほかの出来事

期間中に行われた、かわらんべと関わりのある出来事について紹介します。

■ せせらぎサイエンス指導者研修会

長野県環境部水大気環境課による上記研修会がかわらんべで開催され、水生の指標生物による水質判定について、講義と実習を行いました。（5/26）

■ '11 かわらんべ祭り実行委員会

川路まちづくり委員会長の長谷部喜則氏を委員長とする、かわらんべ祭りの実行委員会が開かれ、展示やイベントなどの計画が話し合われました。（6/15）



研修会の様子



実行委員会の様子



7月の活動予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

かわらんべ講座

電話、FAX、メールなどで「事前申し込み」が必要です。
 ☆印は天竜川上流河川事務所が計画する「天竜川体験講座」。

※青枠はかわらんべ講座予定日
 赤文字は休館日

★7月2日(土)9:00~11:30

「ジャガイモ掘りとサツマイモ植え」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
 【対象】小3年以上 【内容】ジャガイモを掘り、サツマイモを植えてふかしイモを食べよう！

★7月3日(日)9:00~11:00

「アレチウリの駆除」

【講師】天竜川環境整備公社
 【対象】小3年以上
 【内容】水辺の楽校のアレチウリを抜き取ろう！

★7月7日(木)9:00~11:00

「絵手紙講座」

【講師】黒河内 秀幸 (日本絵手紙協会)
 【対象】成人
 【内容】自然の草花で、絵手紙を楽しく描こう！

成人対象

☆7月9日(土)9:00~12:00

「南沢川の源流探検」

【講師】柳生 将之 (かわらんべスタッフ)
 【対象】小3年以上 (小3年未満は不可)
 【内容】小川を歩いて源流を探そう！

★7月13日(水)9:00~11:00

「写真講座」

【講師】宮島 功 (飯田市写真家)
 【対象】成人
 【内容】自然写真の撮影を学ぼう！

成人対象

★7月16日(土)9:00~11:30

「夏のムシ探検」

【講師】四方 圭一郎 (飯田市美術館)
 【対象】小3年以上
 【内容】雑木林で虫を採集して調べよう！

☆7月17日(日)9:00~16:00

「溪流で魚つかみとダム見学」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
 【対象】小3年以上 (定員40名)
 【内容】上村川で魚つかみ、砂防ダム見学、散策をしよう！

☆7月23日(土)9:00~12:00

「溪流の生物と魚道見学」

【講師】国土交通省 天竜川上流河川事務所
 【対象】小3年以上
 【内容】片桐松川の魚道をみて、溪流の生き物を探そう！

★7月28日(木)9:00~11:00

「小川で魚取り」

【講師】堤 久 (かわらんべスタッフ)
 【対象】小3年以上
 【内容】小川で魚などをキャッチアンドリリースしよう！

- ・どなたでも参加できますが、準備や安全管理の都合により事前申し込みが必要です。その際、万が一に備えて保険をかける(参加者は無料)ため、氏名、住所、電話番号などの個人情報をお聞きします。
- ・小学2年生以下のお子さんは、保護者の同伴をお願いします。

かわらんべ祭り

開催日時が決定しました。詳細は問い合わせいただくか、別紙案内をご覧ください。

「11 かわらんべ祭り～みんな集まれ！家族で遊ぼう‘かわらんべ’～」

日時:7月30日(土)9:00~16:00

かわ べ

“川らんべ”の自然通信

川とかかわりの深い生き物や川の自然現象について、専門的に解説します。

No.15 シロスジカミキリ



体長約5cm

シロスジカミキリは日本最大級のカミキリムシで、クヌギやコナラなどの雑木林に住んでいます。しかし、近年ではむしろ河川沿いでよく見つかります。

その理由は林の変化にあるようです。シロスジカミキリのメスは、クヌギやコナラなど広葉樹の根元からそれほど高くない位置(約2m以内)に卵を産みます。産卵される木のほとんどは、幹が細い(直径15cm程度)そうです。木の内部に侵入した幼虫は、穿孔しながら木の養分を摂取して、3年くらい生活します。

かつて、薪炭林として利用されていた雑木林は、シロスジカミキリの産卵に適した細い木ばかりでしたが、放置された現在は幹が太くなってしまったようです。

一方、天竜川などでは河道の固定によって、河原の景色が礫から草地、樹林へと変化しています。特にタチヤナギなどはシロスジカミキリの産卵に適しているのか、いたるところに加害されたキズがあります。また、そのキズから出る樹液を目当てに、クワガタなども集まるようです。(かわらんべスタッフ 柳生 将之)

※このコーナーでは、みなさまからの話題を募集します。紹介したい写真とコメントをかわらんべまでお寄せください。

●土砂移動の調節(渓流砂防)

渓流砂防は、河川が山地を流れる渓流域で土砂の移動を調節します。

山地や河川内で発生した土砂は、水と共に上流から下流へと常に流送されています。ただし、渓流域は一般的に傾斜が急であり、流される土砂の粒も大きい(石や岩、または流木など)ことから、強大な破壊力をもって土砂が移動することがあります。そこで、渓流域に砂防施設を設置して、強すぎる流下エネルギーを一時的に弱めます。砂防施設には主に次のようなものがあります。

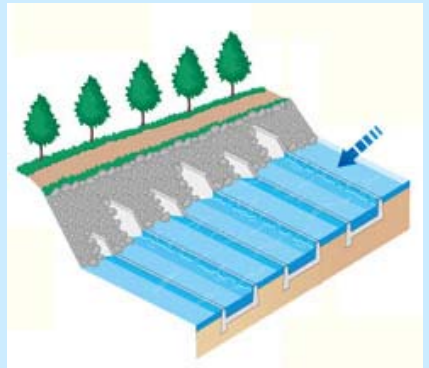
砂防ダム 上流から流れてきた土砂を捕捉し、流下する土砂量を調節する施設で、砂防堰堤とも呼ばれます。

河川を横断する形に設置し、断面積が大きくなるほど土砂調節量も増えます。砂防ダムの機能は、その上流が土砂で満たされた後でも発揮されます。つまり、傾斜がゆるくなることで移動エネルギーが弱まり、特に大きな土砂が留まるしくみです。洪水時にたまった土砂は、その後少しずつ下流に流れていきます。

近年では、砂防ダムと下流水面との落差が大きくなると、河川内を往來する魚類などの移動を妨げるとして問題となっています。そのため、流水部をコンクリートで遮断せず、鋼製の枠や円柱を設置するタイプのダムも増えています。このタイプでは、流木や巨石など大きなものを捕捉します。

床固工群 川底の形を階段状にすることで水が流れるスピードを遅くし、水の力で川底や川岸が削られて新たな土砂が生産されるのを防ぐ施設です。

砂防ダムを小さくした形ですが、川岸や川底の固定も行ないます。複数の床固工を設置することで、機能が十分に発揮されます。また、設置区間では川の流れる場所が固定されるので、河川内の利用がしやすくなります。流路の一部を魚などが通りやすい形状にする(魚道)こともあります。



砂防ダム(上)と床固工群(下)のイメージ
(天竜川上流河川事務所のホームページより)

特集

●36災当時の貴重映像の放映と資料の展示

1961年6月に伊那谷で発生した豪雨災害(36災害)から50年の節目を迎え、各地で関連行事が行なわれています。かわらんべでもコピーに展示コーナーを設け、当時の貴重映像を放映し、関連する記録や資料をそろえました。

特に中央にある大型モニターでは、故長沼計司さん(飯田市上久堅出身)が豪雨の最中から撮影した映像が流れています。そこには、住宅地まで濁流が押し寄せる様子や橋が流れる様子が映っており、当時の恐ろしい災害の状況を知ることができます。



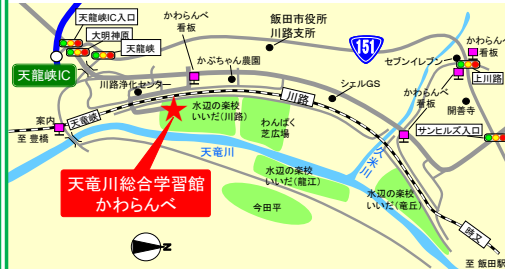
36災害関連資料の展示コーナー

編集だよ!

関東甲信地方は5月下旬から早くも梅雨入りしました。そして、梅雨らしい雨がよく降り、じめじめとした蒸し暑い日が続いております。天竜川の水は濁った状態が続き、川の水も多いままで。こんな季節はカエルにとっては大歓迎のようで、水辺の楽校(いいだ)ではウシガエルの卵がたくさんみつかりました。(Y)

<かわらんべの利用について> 入館無料

- 開館時間9:00~17:00(貸室は21時まで)
- 休館日:月曜・祝日の翌日
(7月の休館は4, 11, 19, 25日)
- 交通案内
 - ・中央自動車道飯田ICより車で30分
 - ・三遠南信自動車道天龍峡ICより車で5分
 - ・JR飯田線天龍峡駅、川路駅より徒歩15分



水辺の楽校いいだ

天竜川沿いに広がる多自然型ビオトープ。堤防沿いの散歩道・子どもたちの遊び場・野鳥観察・水遊びの場として、多くの人に利用されています。

当館では、小中学校の総合学習など団体でのご利用について、レクリエーションや体験学習などのプログラムを提供することができます。ご相談は随時承りますが、夏休みなどの繁忙期は予約が殺到しますので、お早めに連絡ください。

各種申込・問合せ

天竜川総合学習館かわらんべ

住所: 〒399-2431 長野県飯田市川路7674番地 TEL: 0265-27-6115 FAX: 0265-27-6125

ホームページ: <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/kawaranbe/> E-mail: kawaranbe@gmail.com

*申し込みの際には住所、氏名、電話番号、学校名、学年をお知らせください。

